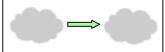
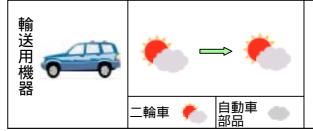
【產業動向概要】

産 業 全 体

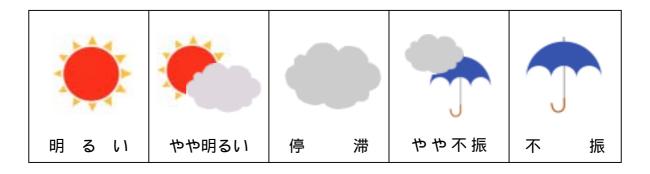


07年4月を中心とする県内経済の動向は、個人消費は概ね横ばいで推移し、公共工事は減少を続けているものの、設備投資が増加し、生産面も堅調に推移している。雇用面では、有効求人倍率が1.2倍台に回復するなど堅調に推移している。このように、県内経済は、需要面は概ね横ばいで推移しているものの、生産面・雇用面ともに堅調であり、緩やかに回復の動きを続けている。

観光・旅館業		伊豆地区のゴールデンウィーク期間中の動向は、観光客・宿泊客ともまずまずの集客で、概ね前年並み程度のもよう。宿泊施設は一部の日を除き直前予約が増加傾向。なお、観光客が連休最終日まで滞在せず、帰宅が早まっているとの指摘あり。
紙類	衛生用紙 人 板 紙	古紙価格は引き続き上昇基調。家庭紙はメーカーによる値上げ実施が相次ぎ、小売価格は上昇も、メーカーの収益環境は依然厳しい。段ボール原紙は国内の需給環境は比較的安定も、原料古紙の価格がさらに引き上げられており、コスト負担の拡大が懸念される。
水産業		2~4月の静岡県主要漁港の水揚量は漁獲制限の影響でマグロが減少したが、サバが好漁で全体としては前年比プラス。マグロ、カツオの魚価も安定し水揚高も堅調。
一般機械 (主要)	金属金型金型パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械	金属工作機械は二桁成長が継続。金型は一転して5ヵ月連続で前年比二桁の減少。パルプ及び製紙機械、プラスチック加工機械は、2~4月期は前年比減だが06年度全体ではプラスを確保。
* 材	ightharpoonup	2月~4月の県内新設住宅着工戸数は順調に 推移し、7期続けて前年を上回る。構造別では 非木造が増加し、木造の低迷が継続。製材品の 06年度生産実績は前年度より減少幅が拡大。 国産材丸太価格は反転の兆しから一転して落ち 込んだが、国産材の需要増加から基調は底堅い 見通し。
缶詰	水産 (出語) (大] (大] (大] (大] (大] (大] (大] (大]	ッナ缶はマグロの欧米での需要増加から原料確保が難しく、生産量は縮小方向。とうもろこしの原料価格は安定しており野菜缶詰の生産量は堅調に推移。緑茶飲料の失速により各メーカーはミネラルウォーターに注力。
楽器器	ピアノ 電子 楽器類	主力のピアノは、生産台数は引き続き堅調に 推移。販売台数は前年並みにとどまる。電子 楽器類は電気・電子ピアノ、電子オルガンと も販売は量・額ともに順調に推移、電子キー ボードは輸出の落ち込みにより販売は引き続 き弱含みで推移。



1月~3月の遠州地域の二輪車生産台数は、 国内向けが不振、輸出向けも微減となり、全体 では前年比マイナスで推移。一方、自動車部品 は輸出主導で生産水準は高いが、利益面では原 材料高、償却負担増からコスト負担が増大し、 また日産系上場企業が営業減益となるなどメー カー系列で明暗が分かれている。



《産業別天気マークの推移》

